



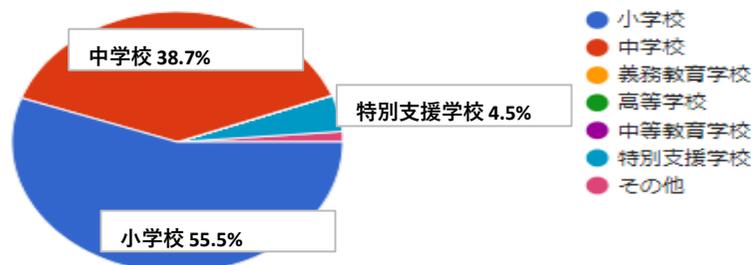
全日教連Webアンケート10月号 「部活動について」 集計結果

全日教連が直接学校現場の声を聞く「直問直答」アンケート。10月は「部活動について」です。現在、学校における働き方改革の一環として、地域移行が検討されている中、様々な意見が集まりました（回答者数156件）。

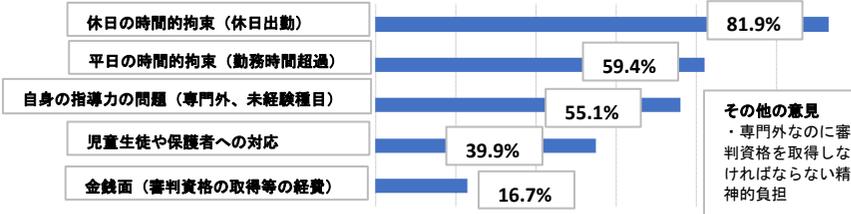
②部活動に関連する以下のものについて、あなたが知っているものを選んでください。



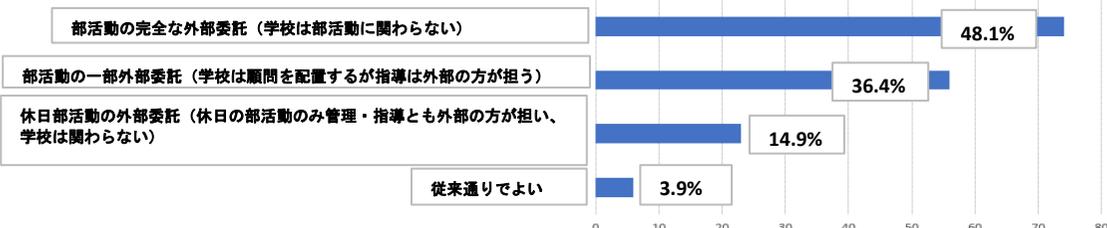
①あなたの勤務する学校種を教えてください。



③あなたが部活動を担当している（していた）際、一番負担となっている（なっていた）ことはなんですか（複数回答可）。



④部活動改革に必要なことはどのようなことだと思いますか。考えの近いものを選択してください（外部委託は地域移行の意味を含む）



その他の自由記述の意見

- ・部活動への特別手当の充実
- ・保護者の理解を進める
- ・希望者のみが関わることができる体制づくり
- ・外部委託が望ましいが、指導者が学校と指導方法等を共有・連携することができる環境作りが必要
- ・部活動を含めた業務量の適性化
- ・勤務時間内で部活動を終了する
- ・中体連のルール等の柔軟性、合同チームや社会体育との連携

このアンケートからの考察

今回の調査では、6名の回答者以外は部活動指導経験者が回答してくださっており、やはり部活動改革には実際に携わっている方が関心が高いことがわかる。一方で、質問②の部活動改革に関わる文書について「どれも知らない」と回答した方が約39%いた。これは、改革の方向性は知っているが、文書等にはあまり目を通していないという理由が考えられる。全日教連としても単位団体と協力し、情報発信に努めたい。質問③の「部活動における負担」については、休日の時間的拘束が約82%と高い割合になった。現在ガイドラインにおいて、休日部活動は土日いずれかを休みにするよう定められているものの、依然負担感が高い。その解決法を尋ねる質問④「改革の方法」については、完全な外部委託を推す声が約48%、一部外部委託が約36%、休日外部委託が約15%と回答が拮抗している。これは自由記述にもあるように、外部委託を望むものの指導者の確保や教育効果等を考えると、今すぐに実現する環境が整っていないということが考えられる。全日教連は今年度、部活動改革について、文部科学省・財務省に対し「部活動指導員の増員」、国会議員に対して「学習指導要領における部活動の位置付けの再整理」等の要望を行った（詳細は全日教連HP第4次・7次・9次要望結果報告参照）。また令和2年度より文部科学省による部活動地域移行のための実証研究も続いている。今後はその動向も注視しつつ、部活動の地域移行のための環境整備等の要望に繋げていく。